

WEEKLY NEWS 2013-2014年度 第2640地区 和歌山東南ロータリークラブ

週報 4号 通算 2056回



例会日：水曜日
 第1・第2:18:30～(夜) 第3・第4・第5:12:30～(昼)
 例会場：ルミール華月殿 和歌山市屋形町 2-10
 事務局：〒640-8215 和歌山市橋丁 23
 サイバーリンクス N-4ビル 2階
 TEL 073-423-3666 FAX 073-423-7200
<http://www3.cypress.ne.jp/tonan-rotary.html>
 E-mail: a-rotary@coral.cypress.ne.jp
 会長：郷間博敏 幹事：奥村智子
 会報委員長：谷口 拓・副委員長：赤在依美



紀の川市の花《もも》

本日の例会
 7月31日(水)
 12:30～華月殿

ロータリーソング：それこそロータリー
 行事：外部卓話「仏教に関する卓話」
 本願寺鷲森別院 森田副輪番様

次回の例会
 8月7日(水)
 18:30～華月殿

行事：外部卓話「よもやま話」
 渡辺 勲 元県会議員様

先週例会報告

ゲスト・ビジターはございません。

会場監督 赤井 誠

会長挨拶

郷間 博敏 会長

本日は、お暑い中 東照宮での例会にご参加いただきましてありがとうございます。
 辻本例会委員長様のご企画頂きました、今日の例会は、先ほども食事暑中、また違った
 形で皆様で楽しまれている様に思いました。この後、東照宮の宮司様に卓話を頂きまして、
 その後本殿を案内して頂きます。歴史のあるこの和歌浦、素晴らしい景色も楽しんで頂けたらと思います。



幹事報告

奥村 智子 幹事

- ・高松南ロータリークラブ 会長 マスウド・ソバハニ様 (第2720地区(四国)では初めての外国人の会長就任だそうです)より例会に是非ご参加くださいとメールが届いております。
 例会日：毎週水曜日 12:30～13:30、例会場：JR ホテルクレメント高松
- ・ガバナー事務所夏季休暇のお知らせが届いております。8月13日(火)～8月16日(金)まで。



ニコニコ箱

中曾 真二郎 会計

郷間君・本日の楽しい例会に。
 辻本君・西川宮司 本日はお世話になります。
 和田君・正式参拝の機会をありがとうございます。
 楠見君・本日は孫と一緒に迷惑をおかけしています。



《ロータリーの守るべき道》

- ① 約束の時間は必ず守りましょう。

《委員会報告》 親睦委員会委員会 溝落和作委員長



7月10日(水)例会終了後、親睦委員会を開催し、今年度の親睦家族旅行について話を行い、親睦家族旅行(2泊3日)を行うことに決まりました。行き先については東北地方(青森周辺)、日時は会員皆様の予定もありますので、早めにお知らせをする必要があると思いますので、お知らせいたします。

10月18日(金)～10月20日(日)で行います。詳しい内容については親睦委員会で決め、皆様にお知らせします。

ニコニコ	米山奨学金	ロータリー財団	東南育英会	紀南災害義援BOX
累計	555,776	0	2,000	5,000

出席報告	出席者	出席率
会員総数	48名	7/24 67.39%
出席免除会員	3名	7/10 86.67%

「紀州東照宮の由緒」 宮司 西川 秀紀様

古来、「和歌の浦に名所がござる、一に権現様」謡われているのが当宮であります。東照宮は、江戸時代の初期に当たる元和5年(1619)2代将軍徳川秀忠公から紀州藩主に転封を命じられた、神君徳川家康公の第10子に当たる徳川頼宣公は、浅野家が広島藩に転封した後和歌山の殿様として入国されました。入国されてからは、和歌山の殖産興業を目指すと共に元和2年(1616)4月17日に亡くなられた、御尊父の家康公の御霊を鎮まれる処を探していました。ある時徳川頼宣公がお城の天守閣から眺められて居ると南の山側から瑞雲が立ち上るのを見て、めでたいことと、東照宮の位置をきめられました。場所は、雑賀山といい、後に(権現山)と呼ばれています。

東照宮の建立

社地は、元和6年(1620)7月に起工され、権現山を削り平地にし、極彩色の本殿、石の間、拝殿を中心に唐門、楼門等が建立されていった。

東照宮の竣工

元和7年(1621)11月天海大僧正は、江戸から100名の僧侶を引き連れ、盛大に寺院の儀式により行われた。天海大僧正は、短期間であったが雲蓋院に帯在している

和歌山(わかさん)天曜寺(てんようじ)の建立

和歌山天曜寺は、天台宗のお寺として雲蓋院を別当寺とし、和合院、宝蔵院、大相院、玉泉院、菌成院、生法院が、山の中腹や山の麓に建立されています。期間は、神社より長期で元和8年から寛永年間以降も続いた。

和歌祭 元和8年(1622)

頼宣公は、御尊父の家康公の御霊をお慰めするため宮の完成の翌年から齋行され現在も継続中、家康公の命日は、4月17日であるが、新歴となり5月17日に、また社会の変化で現在は、5月17日(日、祝)祭齋行、5月17日(平日)前の日曜日に齋行となります。但し、小雨中止。

